

# 2014年2月期 通期(第32期) 決算説明会

## ソーバル株式会社

東京証券取引所(JASDAQスタンダード)

証券番号:2186

平成26年4月17日

代表取締役社長

推津 順一

総スライド数: 13ページ

# Agenda 目次

- Result
  - 1-1 業績ハイライト
  - 1-2 財政状態、キャッシュフロー
  - 1-3 売上構成比 | セグメント／主要顧客
  - 1-4 総括
  
- Future
  - 2-1 今期の見通しと業績予想
  - 2-2 配当予想・株主優待
  
- Strategy
  - 3-1 解決すべき課題
  - 3-2 人材獲得戦略
  - 3-3 M&A戦略
  - 3-4 R&D戦略

# Result 1-1 業績ハイライト

(百万円)	2012年2月期	2013年2月期	2014年2月期		期初予算	予算達成率
	実績	実績	実績	前年比		
売上高	6,126	6,433	<b>6,625</b>	<b>103.0% ↑</b>	6,700	98.9%
営業利益	353	457	<b>518</b>	<b>113.3% ↑</b>	490	105.7%
経常利益	※351	464	<b>516</b>	<b>111.4% ↑</b>	490	105.5%
当期純利益	182	246	<b>302</b>	<b>122.4% ↑</b>	265	114.1%

※2012年2月期の経常利益が以前に開示された内容と異なっておりますが、これは、当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用したものです。

## Point

- 予算に対し売り上げが若干下回るも、前年比、増収増益で着地

## Result 1-2 財政状態、キャッシュフロー

(百万円)	2012年2月期 通期	2013年2月期 通期	2014年2月期 通期
総資産	2,624	2,908	<b>3,167</b>
純資産	2,026	2,204	<b>2,433</b>
自己資本比率	77.2%	75.8%	<b>76.8%</b>
1株当たり純資産	466円49銭	507円23銭	<b>559円59銭</b>
営業活動によるCF	114	343	<b>273</b>
投資活動によるCF	29	△123	<b>△192</b>
財務活動によるCF	△43	△68	<b>△73</b>
期末残高	1,318	1,469	<b>1,477</b>

### Point

- 自己資本比率は依然高い比率を維持
- 総資産、純資産ともに増加
- 約2億円の投資有価証券の取得(投資CF)

## Result 1-3 売上構成比 | セグメント/主要顧客

	2012年2月期 通期	2013年2月期 通期	2014年2月期 通期
エンジニアリング事業	98.1%	99.2%	<b>98.3%</b>
その他事業 (RFID等)	1.9%	0.8%	<b>1.7%</b>
キヤノングループ (内キヤノン株式会社)	75.8% (72.7%)	70.7% (67.7%)	<b>66.0%</b> <b>(63.7%)</b>
ソニーグループ (内ソニー株式会社)	6.6%	7.4% (5.8%)	<b>9.5%</b> <b>(3.3%)</b>
富士通グループ	非開示	8.7%	<b>8.6%</b>
NTTグループ	非開示	4.2%	<b>3.9%</b>
その他	17.6%	9.0%	<b>12.0%</b>

### Point

- RFIDは機器の置換需要により好調
- キヤノン関連は横ばい(売上ベース)、ソニー関連、富士通関連が好調

# Result 1-4 総括

## Point 1

- 新規顧客開拓が順調→利益を押し上げ

## Point 2

- コアード社引き続き好調
- MCTEC社は建て直し完了

## Point 3

- 新卒教育強化
- 来春80名採用計画(グループ全体)

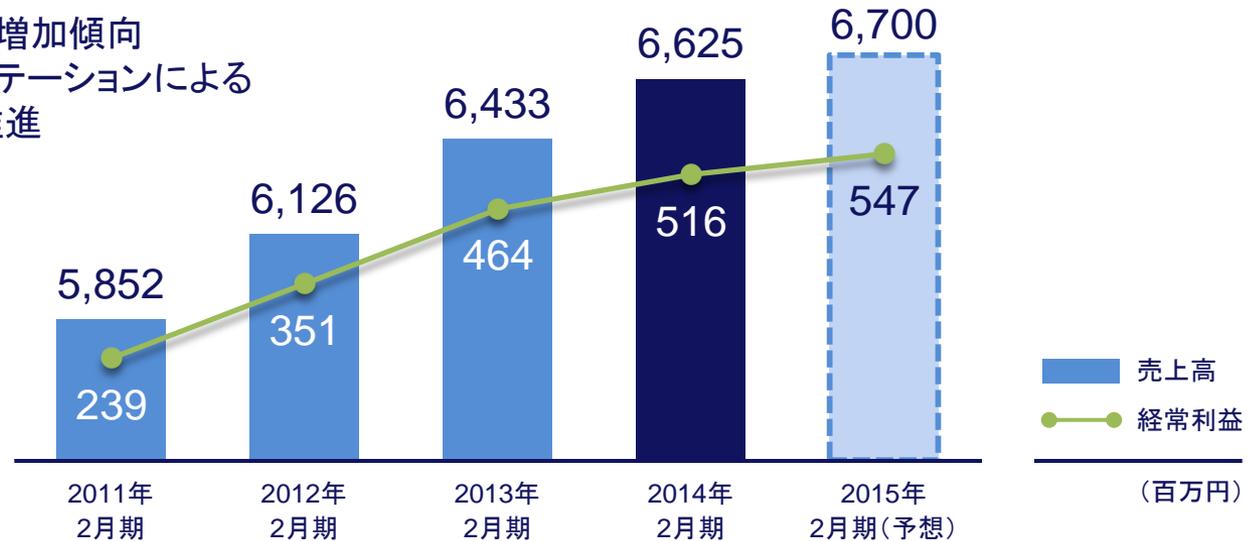
前年比、増収増益で着地  
配当性向30%目標に基づき3円増配

## 課題

- パートナー確保が難航
- M&Aが苦戦中

# Future 2-1 今期の見通しと業績予想

- 案件は引き続き増加傾向
- 技術力upとローテーションによる稼働最適化の推進



## パートナー確保 難航

### 取り組み

- 子会社2社との連携強化
- 積極的なパートナー開拓

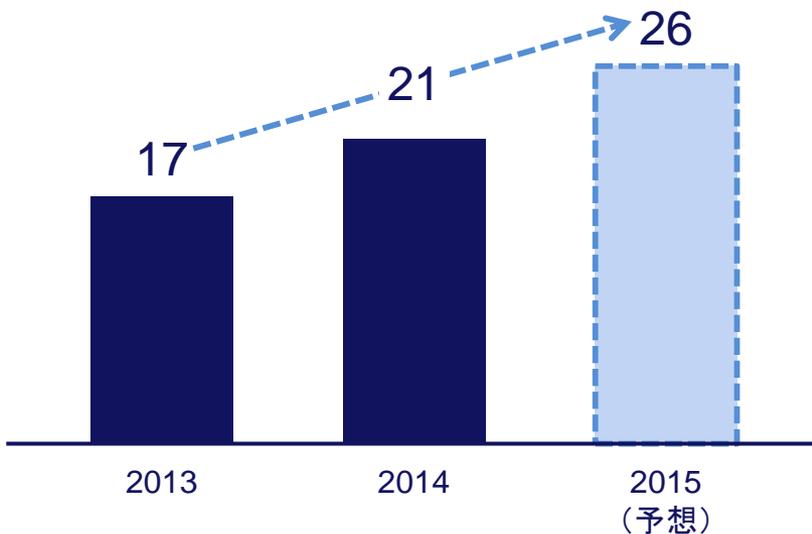
## M&A苦戦中

### 取り組み

- 引き続き積極的に取り組み
- 改めて自社内での事業開発への挑戦 → 新規事業部設立

## Future 2-2 配当予想・株主優待

	一株当たり配当金			配当性向
	第2四半期末	期末	年間	
2015年2月期(予想)	13円00銭	13円00銭	<b>26円00銭</b>	<b>35.3%</b>
2014年2月期	8円00銭	<b>13円00銭</b>	21円00銭	30.2%
2013年2月期	8円00銭	9円00銭	17円00銭	29.9%



### Point

- 期末配当を3円増配(10円予定→13円)

### 配当性向目標と株主優待の変更

2014年2月期まで	2015年2月期から
配当性向 <b>30%</b>	配当性向 <b>35%</b>
株主優待:食品等のギフト • 1単元(100株)以上	株主優待:Quoカード • 1~4単元 ¥500 • 5単元以上 ¥2,000

## Strategy 3-1 解決すべき課題

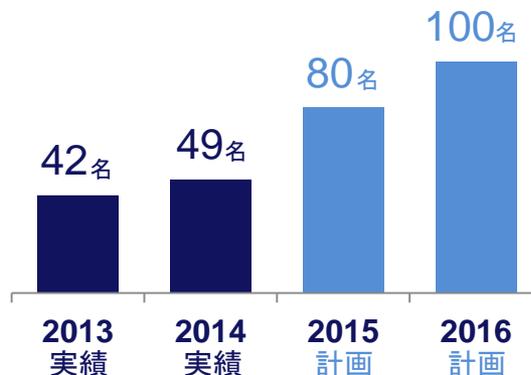
人材確保	<ul style="list-style-type: none"><li>• 新卒採用を主軸とした人材確保</li><li>• 中長期の採用計画と環境づくり</li></ul>	強化
販路拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>• 特定顧客依存からの脱却</li><li>• 為替変動等のリスクに対応できる体制づくり</li></ul>	概ね順調
高齢化対策	<ul style="list-style-type: none"><li>• 定年まで活躍できる環境を構築</li><li>• 労働集約型ビジネスに頼らない収益の柱を確保</li></ul>	模索中

2015年度の最重要項目は、人材確保

# Strategy 3-2 人材獲得戦略

## 人材採用計画(グループ全体)

### 主軸 ▶ 新卒採用



- 研修体制や福利厚生の充実
- 精度の高いプロジェクト管理

## 採用しやすい環境

### 新事業所開設

- 時期: 今年6月予定
- 場所: 品川区(大崎駅周辺)
- 規模: 点在する開発拠点の集約

## エンジニアのワーク・ライフ・バランスの充実

### 低残業時間

- 東洋経済オンライン 最新「有給休暇取得率」トップ300 サービス業で第2位 | 全業種で第47位 – 2014/3/19発表 – <http://toyokeizai.net/articles/-/33109>

エンジニアリング事業の充実

## 「分野の多様性」

- 医療分野
- 自動車分野
- 航空・宇宙分野

### Target

- 後継者不足
- 営業力不足
- 売上規模3~20億



# Strategy 3-4 R&D戦略

## 先端技術の要素開発

RFID関連 / 画像処理関係

- 特許取得



## 新分野への対応

Android / iOS

- 新規顧客開拓
- 開発依頼

## 新規事業部設立

効率的な事業運営

- 平成26年3月12日付で新設
- 既存ビジネスの枠にとらわれない自由な発想で新規事業の立案検討を行い、事業化を目指す

## ネット関連分野

クラウドの活用等

- ポータルサイト運営
- M&A戦略加速

役員、社員一同、一丸となって  
企業価値向上に邁進してまいりますので、  
引き続きご愛顧のほど  
よろしくお願い申し上げます。